

制作手順の概要



Illustratorからの書出し

IllustratorとPhotoshop(バージョン6以上)を利用して3Dっぽいドリンク缶を制作してみましょう。Illustratorで缶本体、缶の上下部、マスク版、ラベル面をレイヤー分けして作成し、レイヤーを保持したまま、Photoshopファイルとして書き出すことが第一のポイントです。第二のポイントはPhotoshopのフィルター機能である、“3Dトランスフォーム”、“球面”などを使い3D的に変形を加えます。

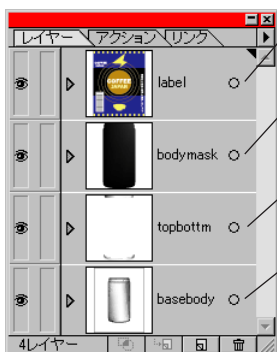
それでは手順を追って説明します。

1. Illustratorで缶本体、缶の上下部、マスク版、ラベル面をレイヤー分けして作成します。

- ・レイヤー “label”
缶のラベルとなるグラフィック。
- ・レイヤー “bodymask”
色調補正やフィルター利用のための選択範囲作成用マスク版。
- ・レイヤー “topbottom”
缶の上部と下部。ラベルと違って金属的な処理をするために別レイヤーで用意。
- ・レイヤー “basebody”
缶ボディの階調選択を作成するための版。使用予定はなし。



1 ラベルの幅

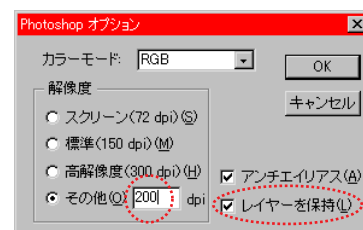
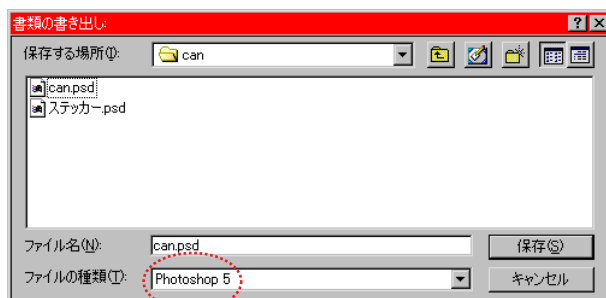
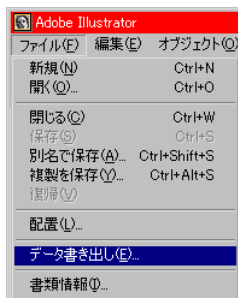


illustratorでのレイヤー構成

2 ラベル面は完成CGが正面からのみの画像なので、正面に両サイド分を加えた幅で作成しておきます。 1

3 ファイルメニューの“データ書き出し”を選びます。

ファイル形式はPhotoshopファイル形式でPhotoshopオプションでは“解像度”、“アンチエイリアス”、“レイヤーを保持”を確認して書き出します。



Photoshopファイルとしての書出し